

第123回

トラック運送業界の景況感（速報）

令和5年7月～9月期

日銀短観（9月調査・全規模）では、大企業製造業は前回調査（同年6月調査）から4ポイント改善の9となった。価格転嫁が進む食料品や半導体不足の解消や円安により自動車産業が改善し、全体を押し上げた。

こうしたなか、トラック運送業においては、一般貨物の輸送数量は増加傾向にあるものの、高止まりした燃料等の輸送原価を適切に転嫁できていないことを反映し、業界の景況感は▲33.5（前回▲32.1）と1.4ポイント悪化した。

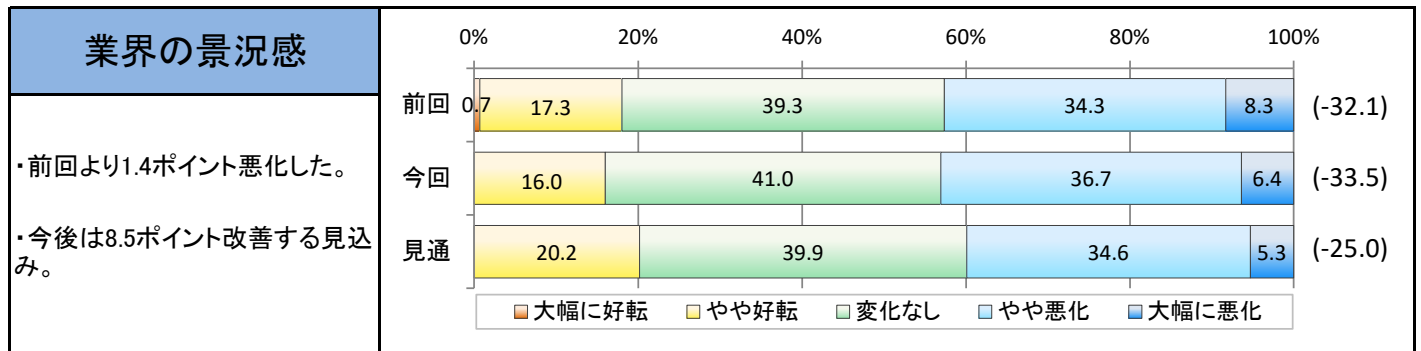
なお、今後の見通しは、輸送数量等が改善する見込みを反映して、▲25.0（今回▲33.5）と8.5ポイント改善の見込みである。

令和5年11月13日

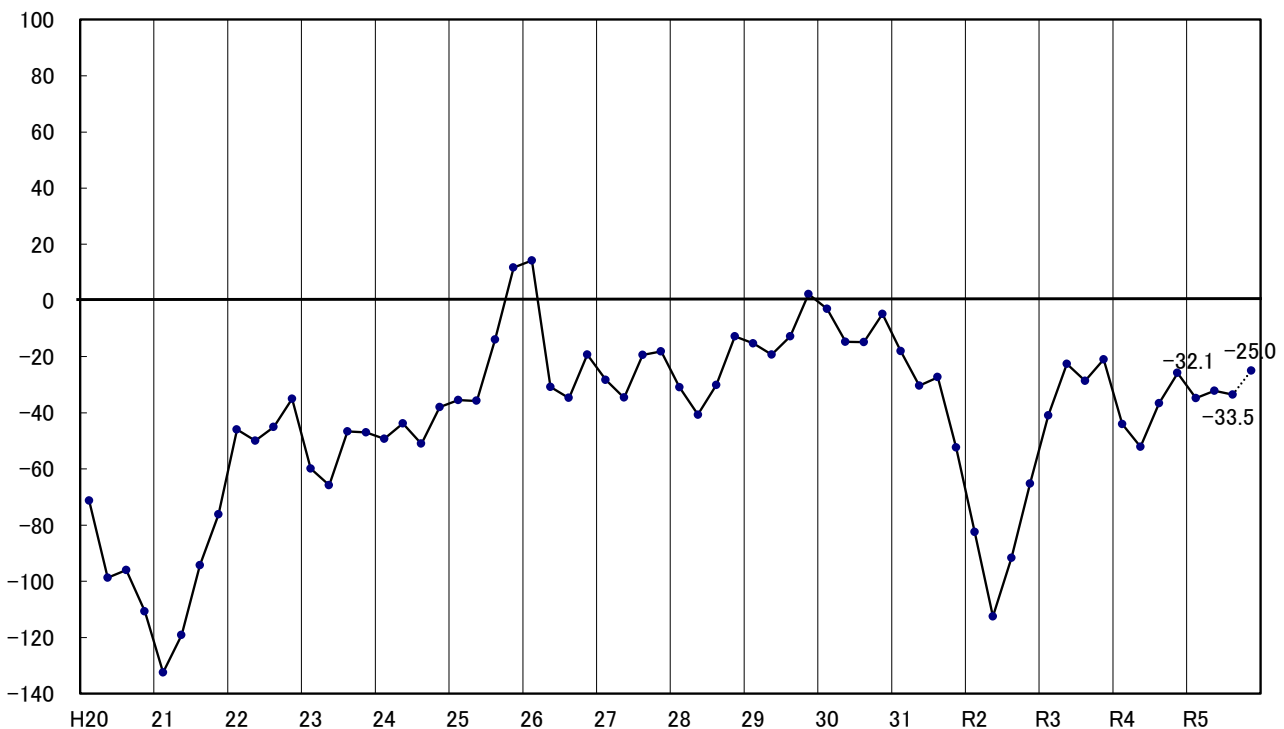
公益社団法人 全日本トラック協会

1 業界の景況感:今回(令和5年7月～9月期)の概況と今後の見通し

今回の状況	・一般貨物の輸送数量は増加傾向にあるものの、高止まりした燃料等の輸送原価を適切に転嫁できていないことを反映し、業界の景況感は▲33.5(前回▲32.1)と1.4ポイント悪化した。
今後の見通し	・今後の見通しは、輸送数量等が改善する見込みから、▲25.0(今回▲33.5)と8.5ポイント改善の見込みである。



トラック運送業界の景況感の推移(H20以降)



(注1) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の上段は前回(R5.4月～6月期)の状況、中段は今回(R5.7月～9月期)の状況、下段は今後(R5.10月～12月期)の見通しを示す。いずれも前年同期比の回答である。

(注2) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) 各グラフ(3段の横棒グラフ)右側にあるカッコ内は判断指数。各判断指数は、各設問の回答に対し、「大幅に増加・上昇・好転、労働力不足」は+2、「やや増加・上昇・好転、労働力不足」は+1、「横ばい」は0、「やや減少・低下・悪化、労働力過剰」は-1、「大幅に減少・低下・悪化、労働力過剰」は-2の点数に置き換え、平均を100倍することにより各判断指数を算出している。

A(設問Aの回答者数) = a1+a2+a3+a4+a5(設問Aの選択肢1～5の回答数の和)

指標 = $\{(+2 \times a1) + (+1 \times a2) + (0 \times a3) + (-1 \times a4) + (-2 \times a5)\} \div A \times 100$

2 共通の概況①:今回(令和5年7月～9月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実働率は▲21.8(前回▲23.2)と1.4ポイント改善、実車率は▲22.3(前回▲23.2)と0.9ポイント改善し、輸送効率は改善傾向を示した。 ・ 運転者の採用動向は▲9.0(前回▲19.9)と10.9ポイント上昇したが、運転者の雇用動向(労働力の不足感)は79.8(前回74.5)と5.3ポイント上昇し、運転者労働力の不足感は強くなった。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実働率は▲12.8(今回▲21.8)と9.0ポイント改善、実車率は▲13.3(今回▲22.3)と9.0ポイント改善し、輸送効率は改善する見込みである。 ・ 運転者の採用動向は▲10.6(今回▲9.0)と1.6ポイント低下、運転者の雇用動向(労働力の不足感)は89.4(今回79.8)と9.6ポイント上昇し、運転者労働力の不足感は一段と強くなる見込みである。

実働率	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 0.4 19.9 44.3 26.9 8.5 (-23.2)</p> <p>今回 18.1 46.8 30.3 4.8 (-21.8)</p> <p>見通 21.3 48.4 26.6 3.7 (-12.8)</p> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや低下 ■ 大幅に低下</p>
<p>・ 前回より1.4ポイント改善した。</p> <p>・ 今後は9.0ポイント改善する見込み。</p>	
実車率	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 0.4 16.6 49.8 25.8 7.4 (-23.2)</p> <p>今回 12.8 55.9 27.7 3.7 (-22.3)</p> <p>見通 18.1 53.2 26.1 2.7 (-13.3)</p> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや低下 ■ 大幅に低下</p>
<p>・ 前回より0.9ポイント改善した。</p> <p>・ 今後は9.0ポイント改善する見込み。</p>	
運転者の採用動向	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 0.4 11.8 62.7 17.7 7.4 (-19.9)</p> <p>今回 1.6 11.7 68.1 13.3 5.3 (-9.0)</p> <p>見通 1.1 11.7 69.1 11.7 6.4 (-10.6)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 変わらない ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
<p>・ 前回より10.9ポイント上昇した。</p> <p>・ 今後は1.6ポイント低下する見込み。</p>	
運転者の雇用動向 (労働力の不足感)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 20.7 38.0 36.9 4.1 0.4 (74.5)</p> <p>今回 19.7 45.7 29.8 4.3 0.5 (79.8)</p> <p>見通 23.4 46.3 27.1 2.7 0.5 (89.4)</p> <p>■ 不足 ■ やや不足 ■ 適当 ■ やや過剰 ■ 過剰</p>
<p>・ 前回より5.3ポイント上昇した(不足感が強くなった)。</p> <p>・ 今後は9.6ポイント上昇する見込み。</p>	

(注4)雇用状況については、上段は前回(R5.4月～6月期)の状況、中段は今回(R5.7月～9月期)の状況、下段は今後(R5.10月～12月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を集計している。

3 共通の概況②: 今回(令和5年7月～9月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲26.1(前回▲36.2)と10.1ポイント増加、貨物の再委託(下請運送会社への委託割合)は▲14.9(前回▲17.3)と2.4ポイント増加した。 経常損益は▲36.2(前回▲33.2)と3.0ポイント悪化した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 所定外労働時間は▲21.3(今回▲26.1)と4.8ポイント増加し、貨物の再委託は▲8.5(今回▲14.9)と6.4ポイント増加の見込みである。 経常損益は▲35.1(今回▲36.2)と1.1ポイント改善する見込みである。

所定外労働時間																													
<p>・前回より10.1ポイント増加した。</p> <p>・今後は4.8ポイント増加する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.5</td> <td>9.6</td> <td>50.2</td> <td>34.7</td> <td>5.5</td> <td>-36.2</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.5</td> <td>8.5</td> <td>59.0</td> <td>28.2</td> <td>3.7</td> <td>-26.1</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>0.5</td> <td>9.0</td> <td>61.2</td> <td>27.1</td> <td>2.1</td> <td>-21.3</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	0.5	9.6	50.2	34.7	5.5	-36.2	今回	0.5	8.5	59.0	28.2	3.7	-26.1	見通	0.5	9.0	61.2	27.1	2.1	-21.3
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	0.5	9.6	50.2	34.7	5.5	-36.2																							
今回	0.5	8.5	59.0	28.2	3.7	-26.1																							
見通	0.5	9.0	61.2	27.1	2.1	-21.3																							
貨物の再委託 (下請運送会社への委託割合)																													
<p>・前回より2.4ポイント増加した。</p> <p>・今後は6.4ポイント増加する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>変わらない</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>1.1</td> <td>14.8</td> <td>57.2</td> <td>19.6</td> <td>7.4</td> <td>-17.3</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.6</td> <td>17.0</td> <td>53.7</td> <td>20.2</td> <td>7.4</td> <td>-14.9</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>1.1</td> <td>19.1</td> <td>55.9</td> <td>18.1</td> <td>5.9</td> <td>-8.5</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	変わらない	やや減少	大幅に減少	合計	前回	1.1	14.8	57.2	19.6	7.4	-17.3	今回	1.6	17.0	53.7	20.2	7.4	-14.9	見通	1.1	19.1	55.9	18.1	5.9	-8.5
項目	大幅に増加	やや増加	変わらない	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	1.1	14.8	57.2	19.6	7.4	-17.3																							
今回	1.6	17.0	53.7	20.2	7.4	-14.9																							
見通	1.1	19.1	55.9	18.1	5.9	-8.5																							
経常損益																													
<p>・前回より3.0ポイント悪化した。</p> <p>・今後は1.1ポイント改善する見込み。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に好転</th> <th>やや好転</th> <th>変化なし</th> <th>やや悪化</th> <th>大幅に悪化</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>1.5</td> <td>16.8</td> <td>36.5</td> <td>37.5</td> <td>7.7</td> <td>-33.2</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.1</td> <td>19.1</td> <td>33.5</td> <td>35.1</td> <td>11.2</td> <td>-36.2</td> </tr> <tr> <td>見通</td> <td>1.1</td> <td>18.6</td> <td>37.8</td> <td>33.5</td> <td>10.1</td> <td>-35.1</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に好転	やや好転	変化なし	やや悪化	大幅に悪化	合計	前回	1.5	16.8	36.5	37.5	7.7	-33.2	今回	1.1	19.1	33.5	35.1	11.2	-36.2	見通	1.1	18.6	37.8	33.5	10.1	-35.1
項目	大幅に好転	やや好転	変化なし	やや悪化	大幅に悪化	合計																							
前回	1.5	16.8	36.5	37.5	7.7	-33.2																							
今回	1.1	19.1	33.5	35.1	11.2	-36.2																							
見通	1.1	18.6	37.8	33.5	10.1	-35.1																							

【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第122回調査は、令和5年10月1日に、モニターに対して調査開始、令和5年10月31日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
99	453	479

4 一般貨物:今回(令和5年7月~9月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 一般貨物では、輸送数量は▲29.0(前回▲37.0)と8.0ポイント改善、運賃・料金の水準は24.6(前回22.2)と2.4ポイント改善したことから、営業収入(売上高)は▲25.1(前回▲28.4)と3.3ポイント改善した。 営業利益は▲33.3(前回▲41.6)と8.3ポイント改善した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 一般貨物では、運賃・料金の水準は21.3(今回24.6)と3.3ポイント悪化するものの、輸送数量は▲15.3(今回▲29.0)と13.7ポイント改善することから、営業収入(売上高)は▲14.8(今回▲25.1)と10.3ポイント改善する見込みである。 営業利益は、▲29.5(今回▲33.3)と3.8ポイント改善する見込みである。

輸送数量	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>1.6</td> <td>19.8</td> <td>32.3</td> <td>32.7</td> <td>13.6</td> <td>(-37.0)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.1</td> <td>19.7</td> <td>37.7</td> <td>32.2</td> <td>9.3</td> <td>(-29.0)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.5</td> <td>24.6</td> <td>39.9</td> <td>29.0</td> <td>6.0</td> <td>(-15.3)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	1.6	19.8	32.3	32.7	13.6	(-37.0)	今回	1.1	19.7	37.7	32.2	9.3	(-29.0)	見通し	0.5	24.6	39.9	29.0	6.0	(-15.3)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	1.6	19.8	32.3	32.7	13.6	(-37.0)																							
今回	1.1	19.7	37.7	32.2	9.3	(-29.0)																							
見通し	0.5	24.6	39.9	29.0	6.0	(-15.3)																							
運賃・料金の水準	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に上昇</th> <th>やや上昇</th> <th>横ばい</th> <th>やや下落</th> <th>大幅に下落</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.4</td> <td>30.0</td> <td>61.9</td> <td>7.0</td> <td>0.8</td> <td>(22.2)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.1</td> <td>31.1</td> <td>61.7</td> <td>3.3</td> <td>2.7</td> <td>(24.6)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td></td> <td>31.1</td> <td>61.2</td> <td>5.5</td> <td>2.2</td> <td>(21.3)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大幅に下落	合計	前回	0.4	30.0	61.9	7.0	0.8	(22.2)	今回	1.1	31.1	61.7	3.3	2.7	(24.6)	見通し		31.1	61.2	5.5	2.2	(21.3)
項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大幅に下落	合計																							
前回	0.4	30.0	61.9	7.0	0.8	(22.2)																							
今回	1.1	31.1	61.7	3.3	2.7	(24.6)																							
見通し		31.1	61.2	5.5	2.2	(21.3)																							
営業収入(売上高)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>1.9</td> <td>22.2</td> <td>33.1</td> <td>31.1</td> <td>11.7</td> <td>(-28.4)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.1</td> <td>23.5</td> <td>34.4</td> <td>31.1</td> <td>9.8</td> <td>(-25.1)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.5</td> <td>24.0</td> <td>40.4</td> <td>30.1</td> <td>4.9</td> <td>(-14.8)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	1.9	22.2	33.1	31.1	11.7	(-28.4)	今回	1.1	23.5	34.4	31.1	9.8	(-25.1)	見通し	0.5	24.0	40.4	30.1	4.9	(-14.8)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	1.9	22.2	33.1	31.1	11.7	(-28.4)																							
今回	1.1	23.5	34.4	31.1	9.8	(-25.1)																							
見通し	0.5	24.0	40.4	30.1	4.9	(-14.8)																							
営業利益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>1.6</td> <td>17.1</td> <td>33.1</td> <td>34.6</td> <td>13.6</td> <td>(-41.6)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.6</td> <td>19.1</td> <td>33.9</td> <td>35.0</td> <td>10.4</td> <td>(-33.3)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.5</td> <td>19.1</td> <td>36.6</td> <td>37.7</td> <td>6.0</td> <td>(-29.5)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	1.6	17.1	33.1	34.6	13.6	(-41.6)	今回	1.6	19.1	33.9	35.0	10.4	(-33.3)	見通し	0.5	19.1	36.6	37.7	6.0	(-29.5)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	1.6	17.1	33.1	34.6	13.6	(-41.6)																							
今回	1.6	19.1	33.9	35.0	10.4	(-33.3)																							
見通し	0.5	19.1	36.6	37.7	6.0	(-29.5)																							

5 宅配貨物:今回(令和5年7月~9月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 宅配貨物では、輸送数量は▲7.1(前回▲20.3)と13.2ポイント改善、運賃・料金の水準は21.4(前回15.6)と5.8ポイント改善したことから、営業収入(売上高)は▲35.7(全回▲46.9)と11.2ポイント改善した。 営業利益は▲28.6(前回▲40.6)と12.0ポイント改善した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 宅配貨物では、輸送数量は0.0(今回▲7.1)と7.1ポイント改善し、運賃・料金の水準は28.6(今回21.4)と7.2ポイント改善することから、営業収入(売上高)は▲28.6(今回▲35.7)と7.1ポイント改善する見込みである。 営業利益は▲21.4(今回▲28.6)と7.2ポイント改善する見込みである。

輸送数量	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 3.1 79.7 10.9 6.3 (-20.3)</p> <p>今回 14.3 64.3 21.4 (-7.1)</p> <p>見通 21.4 57.1 21.4 (0.0)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
運賃・料金の水準	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 1.6 14.1 82.8 1.6 (15.6)</p> <p>今回 21.4 78.6 (21.4)</p> <p>見通 35.7 57.1 7.1 (28.6)</p> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや下落 ■ 大幅に下落</p>
営業収入(売上高)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 12.5 37.5 40.6 9.4 (-46.9)</p> <p>今回 14.3 50.0 21.4 14.3 (-35.7)</p> <p>見通 14.3 57.1 14.3 14.3 (-28.6)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
営業利益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 12.5 43.8 34.4 9.4 (-40.6)</p> <p>今回 14.3 50.0 28.6 7.1 (-28.6)</p> <p>見通 14.3 57.1 21.4 7.1 (-21.4)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>

※ 宅配貨物に関する回答事業者は一部に限定され、また回答サンプル数が少ないため、上記調査結果は宅配貨物を網羅的に評価した結果となっていない場合がある。

6 宅配以外の特積貨物:今回(令和5年7月~9月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> 宅配以外の特積貨物では、輸送数量は▲37.5(前回▲65.2)と27.7ポイント改善、運賃・料金の水準は16.7(前回▲15.9)と0.8ポイント改善したことから、営業収入(売上高)は▲41.7(前回▲52.2)と10.5ポイント改善した。 営業利益は▲54.2(前回▲60.9)と6.7ポイント改善した。
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> 宅配以外の特積貨物では、輸送数量は▲25.0(今回▲37.5)と12.5ポイント改善、運賃・料金の水準は25.0(今回16.7)と8.3ポイント改善の見込みであることから、営業収入(売上高)は▲29.2(今回▲41.7)と12.5ポイント改善の見込みである。 営業利益は▲37.5(今回▲54.2)と16.7ポイント改善する見込みである。

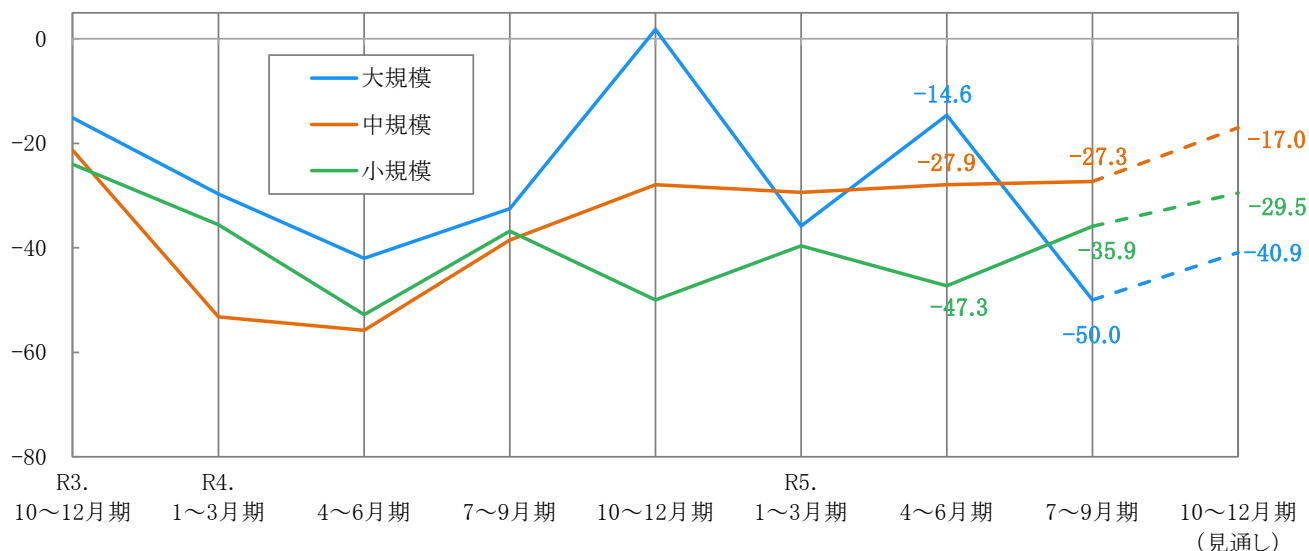
輸送数量	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回は27.7ポイント改善した。 今後は12.5ポイント改善する見込み。</p>
運賃・料金の水準	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回は0.8ポイント改善した。 今後は8.3ポイント改善する見込み。</p>
営業収入(売上高)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回は10.5ポイント改善した。 今後は12.5ポイント改善する見込み。</p>
営業利益	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回は6.7ポイント改善した。 今後は16.7ポイント改善する見込み。</p>

7 事業者特性別の特徴①:規模別・品目別 業界の景況感

規模 (注5)

- ・大規模事業者：▲50.0(前回▲14.6)と35.4ポイント悪化、今後は▲40.9と9.1ポイント改善見通し。
- ・中規模事業者：▲27.3(前回▲27.9)と0.6ポイント改善、今後は▲17.0と10.3ポイント改善見通し。
- ・小規模事業者：▲35.9(前回▲47.3)と11.4ポイント改善、今後は▲29.5と6.4ポイント改善見通し。

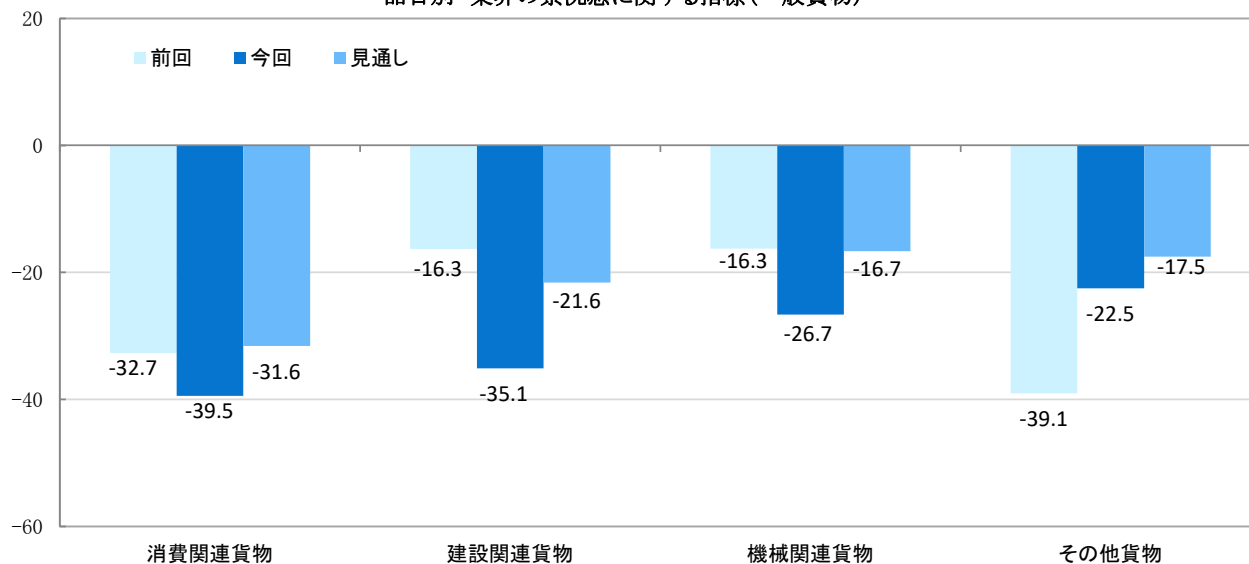
事業規模別 業界の景況感に関する指標の推移 (R3. 10~12月期より)



品目 (注6)

- ・消費関連貨物：▲39.5(前回▲32.7)と6.8ポイント悪化、今後は▲31.6と7.9ポイント改善見通し。
- ・建設関連貨物：▲35.1(前回▲16.3)と18.8ポイント悪化、今後は▲21.6と13.5ポイント改善見通し。
- ・機械関連貨物：▲26.7(前回▲16.3)と10.4ポイント悪化、今後は▲16.7と10.0ポイント改善見通し。
- ・その他貨物：▲22.5(前回▲39.1)と16.6ポイント改善、今後は▲17.5と5.0ポイント改善見通し。

品目別 業界の景況感に関する指標(一般貨物)



(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上 中規模事業者：21両以上100両以下 小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

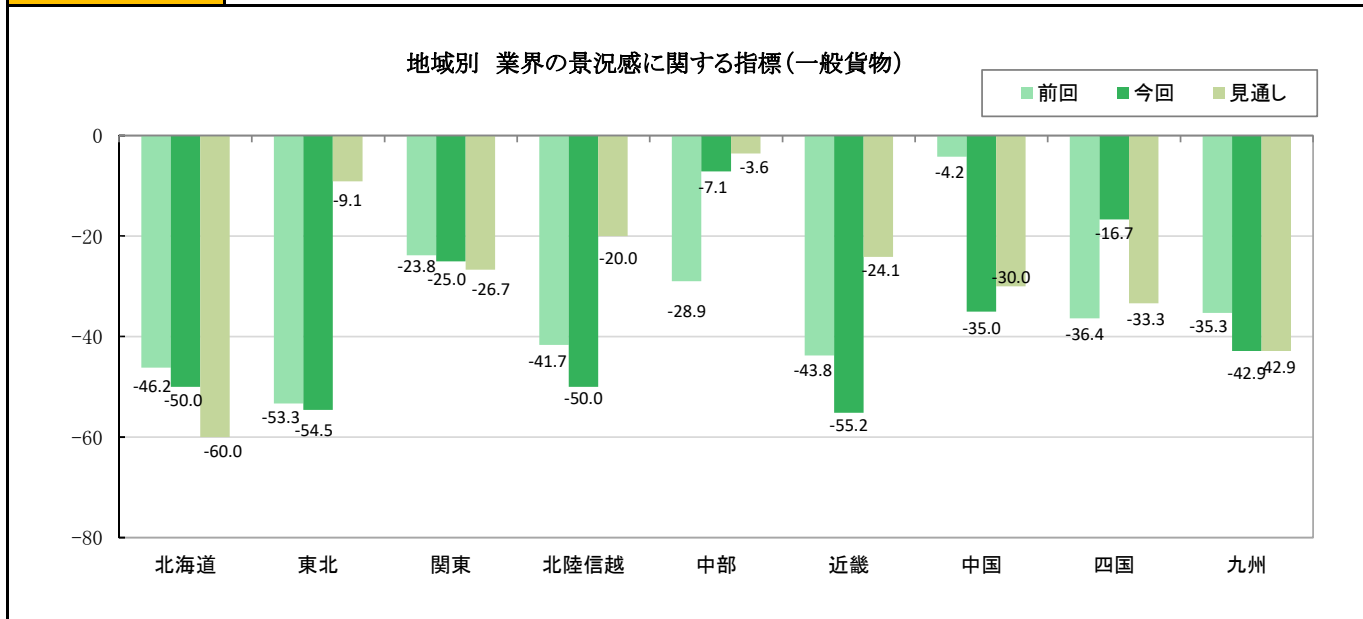
機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

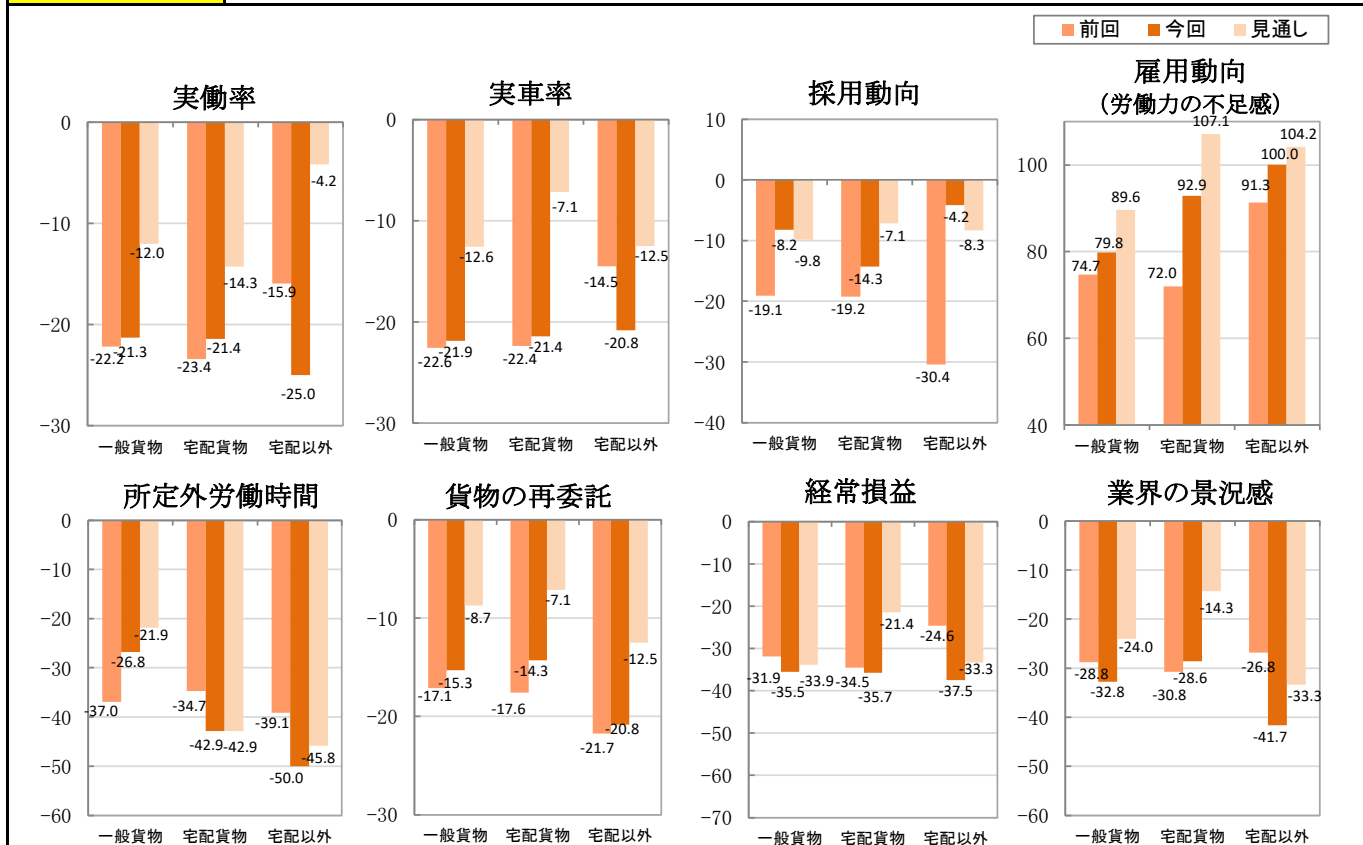
品目別業界の景況感に関する指標は、「一般貨物」の輸送品目について1位の回答を反映している。

7 事業者特性別の特徴②:地域別・事業形態別 業界の景況感等

地域 (注7)	<ul style="list-style-type: none"> 地域別にみると、中部、四国で改善し、北海道、東北、関東、北陸信越、近畿、中国、九州で悪化した。 来期の見通しは、東北、北陸信越、中部、近畿、中国で改善、北海道、関東、四国で悪化の見込みである。(九州は横ばい)
-------------------	---



事業形態別 (注8)	<ul style="list-style-type: none"> 雇用動向(労働力の不足感)は前回と比較すると、労働力の不足感は強くなり、来期は一段と強い不足感が見込まれている。 今期は燃料コスト、物価高の影響を受けたものの、運賃・料金への転嫁が十分に進まないことを反映し、経常損益は悪化し、業界の景況感は一般貨物▲32.8、宅配貨物▲28.6、宅配以外の特積貨物▲41.7となった。
----------------------	--

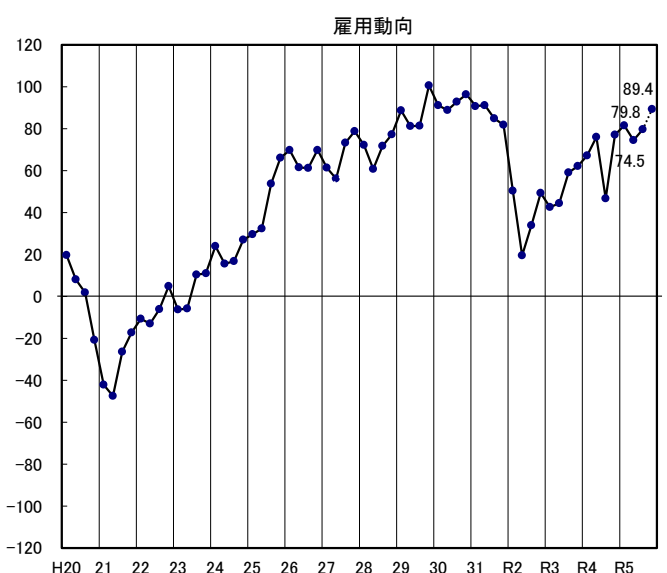
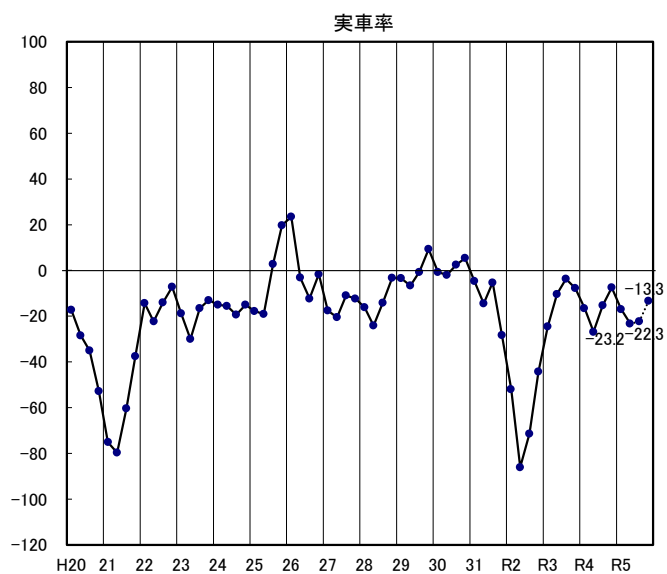
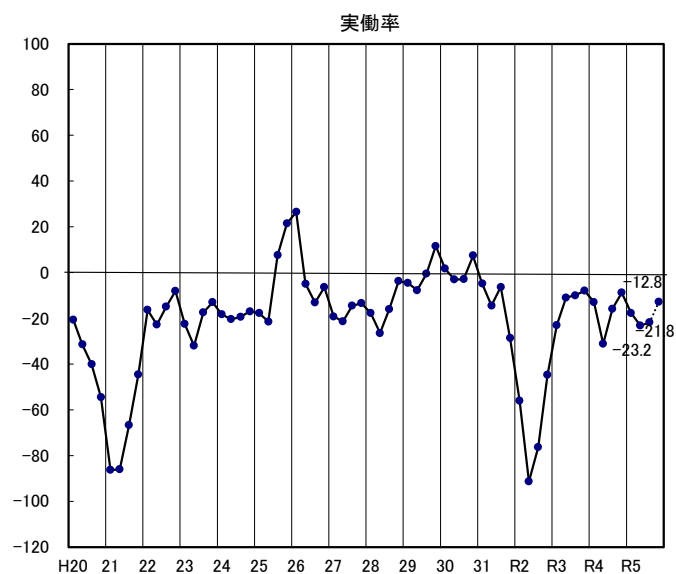


(注7) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。なお、グラフは一般貨物の事業者のみ集計している。

(注8) 事業形態の分類は、「一般貨物」及び「宅配貨物」「宅配以外の特積貨物」である。

8 業況判断指標の推移(平成20年～令和5年度第3四半期見通し)

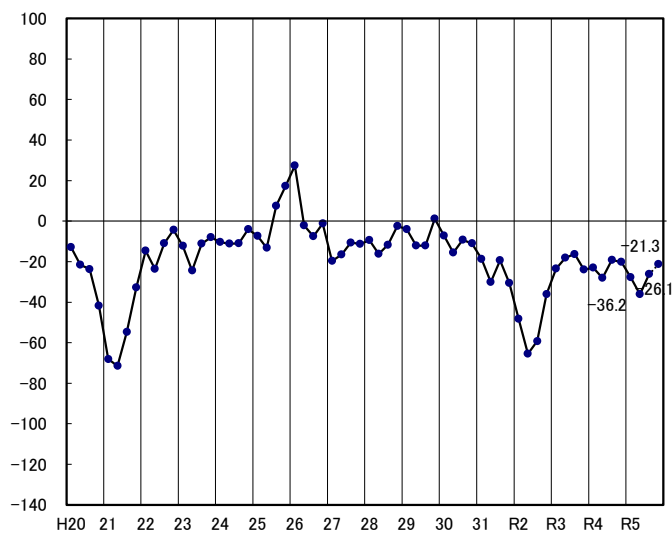
共通の概況①



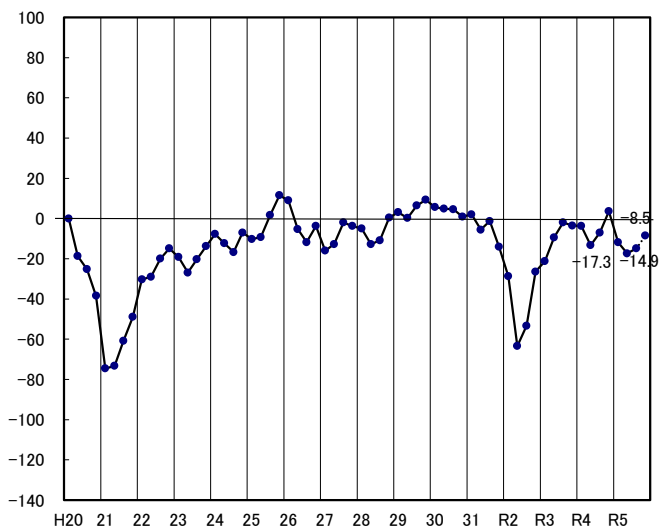
8 業況判断指標の推移(平成20年～令和5年度第3四半期見通し)

共通の概況②

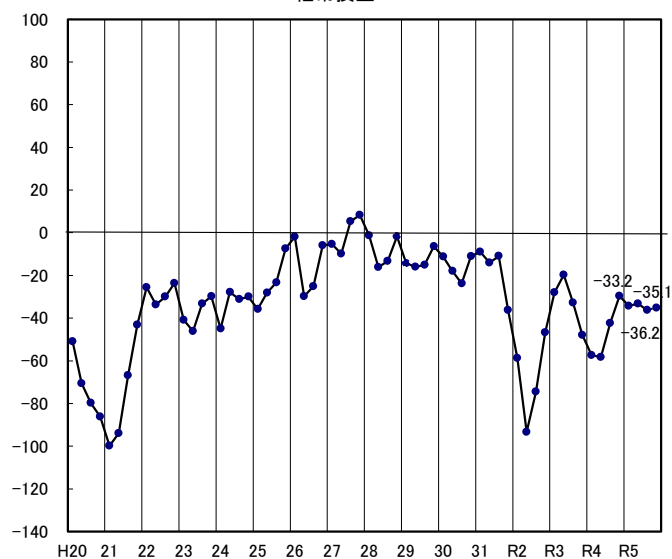
所定外労働時間



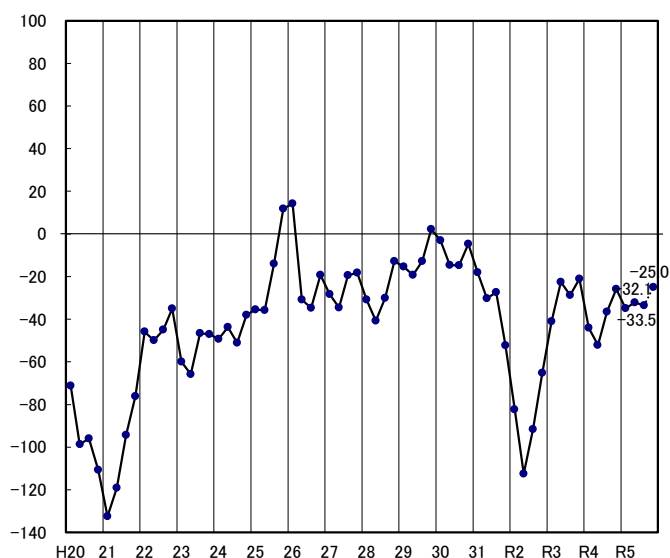
貨物の再委託



経常損益

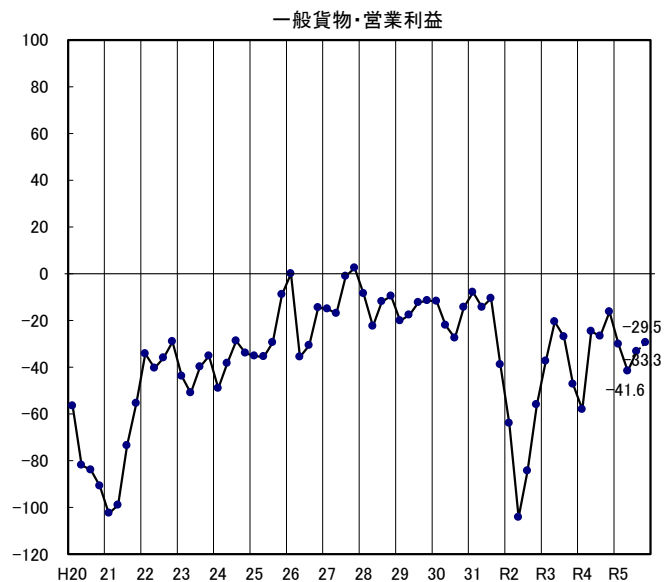
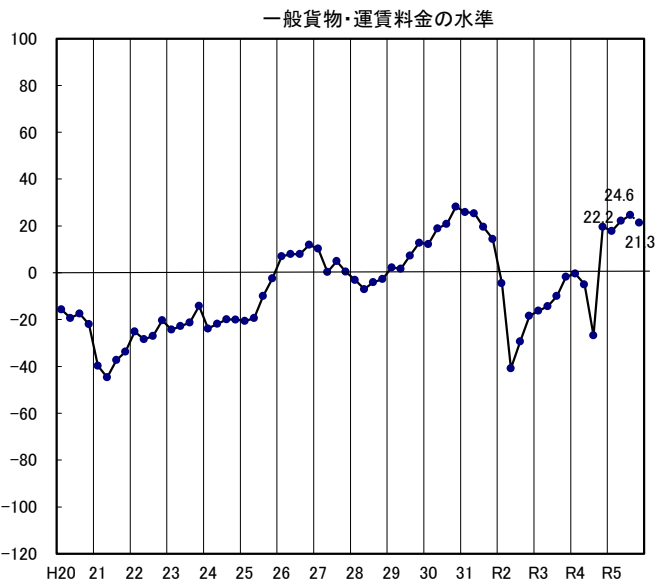
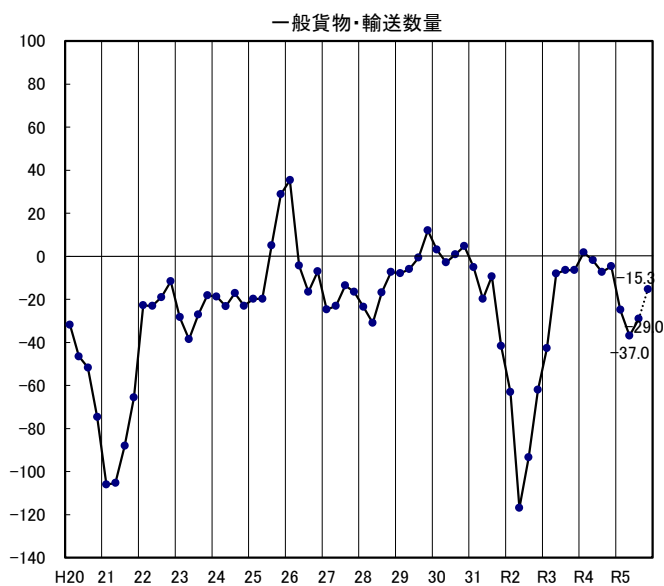


業界の景況感



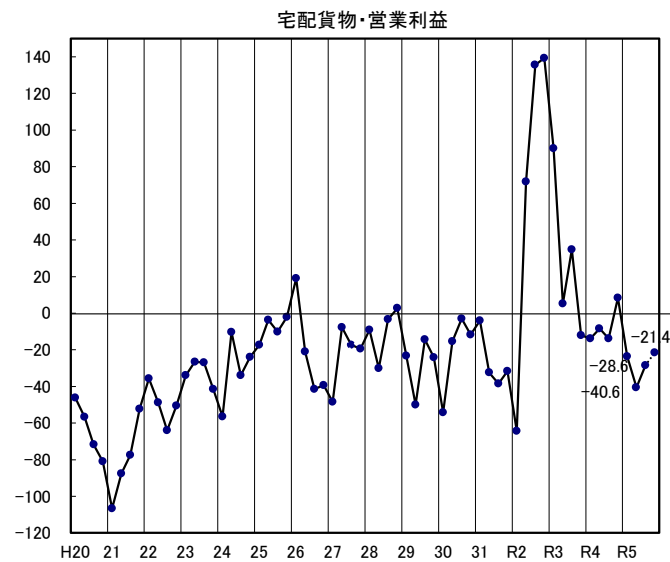
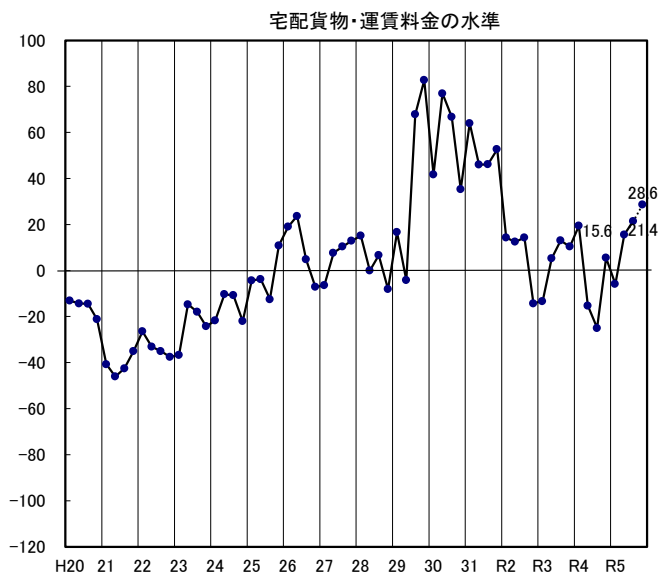
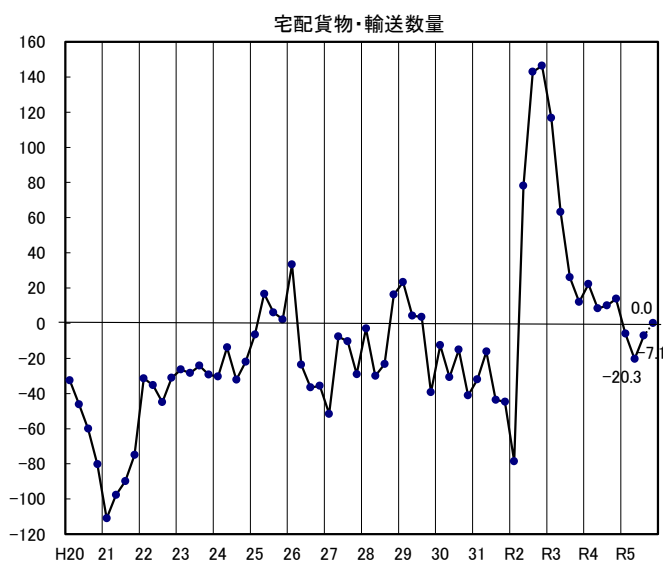
8 業況判断指標の推移(平成20年～令和5年度第3四半期見通し)

一般貨物



8 業況判断指標の推移(平成20年～令和5年度第3四半期見通し)

宅配貨物



8 業況判断指標の推移(平成20年～令和5年度第3四半期見通し)

宅配以外の特積貨物

